



木々や花が芽吹き始める様子に、春の訪れを感じる季節となりました。1年が過ぎるのは早いもので、ゆりぐみに進級した頃の幼かった子ども達の表情が昨日のように思い出されます。この1年で心も身体もたくましく成長し、『自信』という宝物を手に入れ、4月からは夢と希望をランドセルに沢山つめて、大きな一歩を踏み出そうとしています。

保育園生活も残りわずかになりましたが、心に残る思い出を1つでも多く作り、笑顔で送り出してあげたいと思います。

保護者の皆様には、沢山のご協力を頂きまして本当にありがとうございました。



この1年間で様々な成長を見せてくれた子ども達。1ヶ月後には小学生になるみんなに、1年生になってからの楽しみな事や目標を聞いてみました。

- ・算数、国語の勉強を頑張りたい。
- ・テストで100点を取りたい。
- ・みんなと友達になりたい。
- ・お手伝いを頑張りたい。
- ・宿題をしっかりとやる。
- ・全部頑張りたい。

子ども達は小学生になることをとても楽しみにしているので、素敵な小学校生活を送ってほしいです。



楽しかったお別れ遠足



お別れ遠足の2週間前頃から、「お菓子買ったんだ」「お弁当にかから揚げ入れてもらうんだ」「昨日おうちでファッションショーしたんだ」と、毎日お別れ遠足の話ばかりで待ちきれないようでした。

いよいよ当日を迎え、笑顔で登園してきた子ども達。バスの中では「あと何分で着くかな」とワクワクしていて、お菓子を食べたり、なぞなぞ大会を楽しんでいると、あっという間に水族館に到着しました。映画『ファインディング・ドリー』の影響もあるようで、ドリーやニモがいる水槽にみんな釘付けでした。ドリーの名前が『ナンヨウハギ』だと知り驚いていました。ラッコやアザラシのお食事タイムでは、水族館のお姉さんに質問出来る機会があり、「何で魚を食べるんですか？」「何でアザラシの目は白いんですか？」など積極的に手を挙げて質問する子もいました。アシカ・イルカショーでは、ジャンプや様々な技に大興奮で、「すごい！」「うわ～天才！」と一番盛り上がっていました。

楽しみにしていたお弁当の時間になると、「ずっとお弁当の時間を楽しみにしていたんだ」「何が入っているんだろう」と嬉しそうにお弁当を広げていました。いただきますのご挨拶をすると、「美味しい！」と言ってすぐに完食する子や、食べるのが勿体なくてしばらくの間眺めている子もいました。愛情たっぷりのお弁当はとても美味しく、全員完食でした。

保育園に帰ってからも「また行きたいね」「すごく楽しかったね」と友達と話を弾ませていました。沢山遊んで疲れているかと思いましたが、「遊びたい！」と言うのでどのような遊びをするのか見ていると、みんなでアシカ・イルカショーごっこをしていました。アシカ役、イルカ役、お客さん役、水族館のお姉さん役に分かれて、拍手をしたり泳ぐ真似をして楽しく遊んでいました。子ども達で役を順番に交換しながら遊んでいる姿に改めて成長を感じ、素敵な思い出が増えた最高の一日でした。